

新規就農者の素顔	農業経営の状況（現在）
<p>氏名：藤東 芳光（ふじとう よしみつ） 住所：佐用郡佐用町三ツ尾261 年齢：34歳</p> 	<p>農地：150a 栽培面積：ぶどう90a、水稻60a 経営内容：ぶどう（ピオーネ 他8品種） 労働力：本人、両親、雇用（4名） 出荷先：自宅直売所、三日月味わいの里など</p>  <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">消費者との交流会（御結び市）</p>
<p>就農から現在まで</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p>
<p>料理専門学校を卒業後、洋食レストラン等で8年間勤務した後、 2013年4月 神戸市内のレストラン退職 2013年7月 利用権設定により農地取得 2013～2014年 山崎農業公園（宍粟市）にて、就農スタートアップ支援事業の研修生として故福井松男氏に師事を受ける 2015年1月 父親より経営継承</p>	<p>○良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の作ったものに対し、直接お客さんから評価を受けることにやりがいを感じる。但し、ぶどうは繊細なもので、中途半端な栽培は禁物。商品の評価がダイレクトに返ってくるので、自分の目で必ず商品を確認している。 <p>○苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業経営は思った以上に大変。体調管理に注意し、安全面にも配慮している。
<p>農業をめざした動機</p>	<p>後輩へ贈る言葉、将来のこと</p>
<p>・ サラリーマン生活をしていましたが、祖父が栽培する「ぶどうの味」が子供の頃から忘れられず、いつかはぶどう栽培をしたいと思っていた。そんな時、父が病気になり、「やるなら今」と会社を退職し就農することを決意した。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 町内、地域等での人とのつきあいが大切。（接客力、人間力の向上） 「品質重視」を第一に、作業のポイントをつかみ省力化を図る。 姫路、神戸で試食会や交流会を開催し「三日月高原ぶどう」の名を広くPRしたい。また、元料理人の腕を生かしてジャム等の農産加工にも取り組みたい。